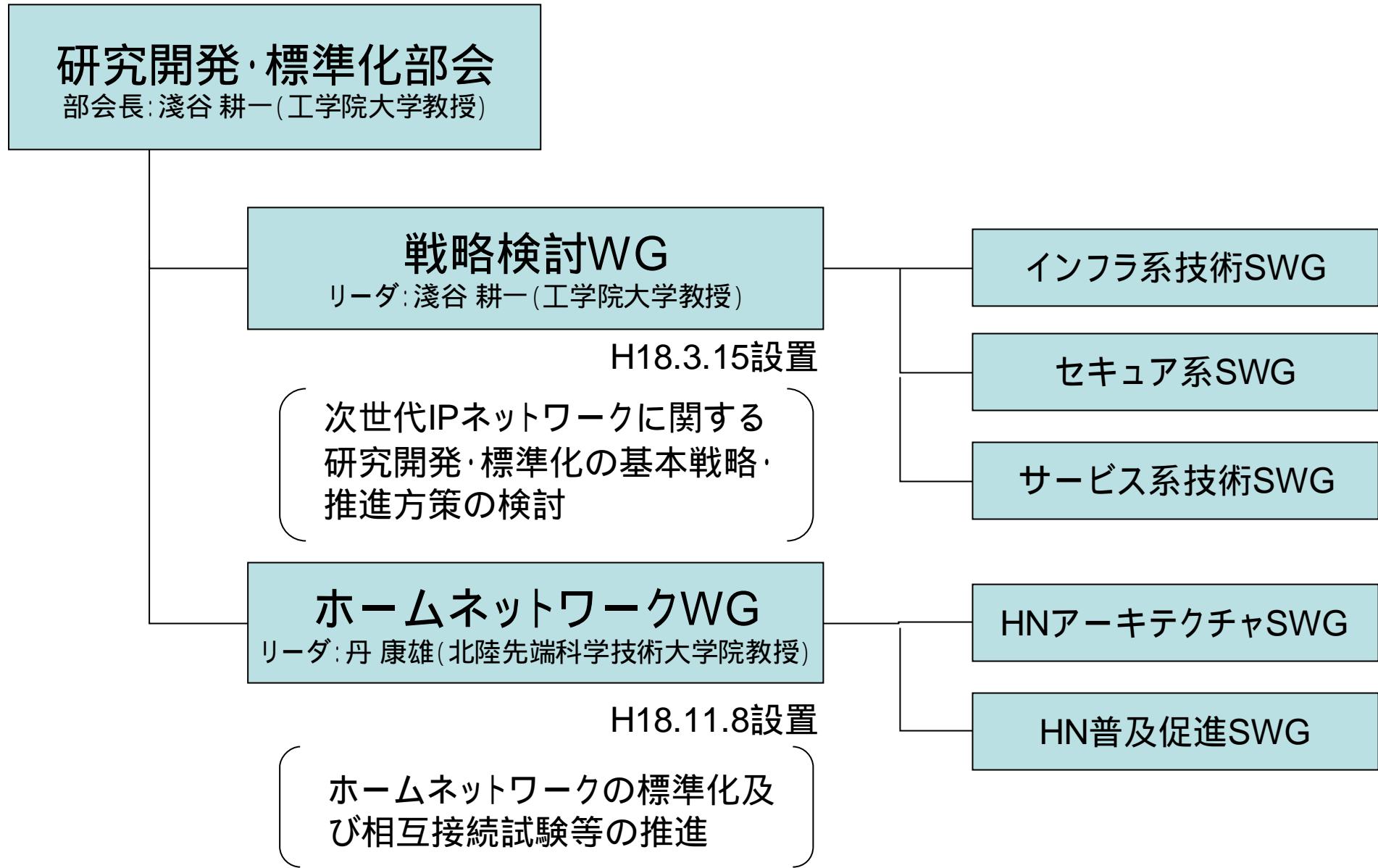


研究開発・標準化部会 活動報告及び平成20年度の活動方針

平成20年3月24日

次世代IPネットワーク推進フォーラム
研究開発・標準化部会

研究開発・標準化部会の構成 (H20.3.24現在)



戦略検討WG

戦略検討WGの構成

WGメンバーへのアンケート結果を踏まえ、以下の3つのSWGを設置 (H18.12.12)

インフラ系技術SWG (主査:NTT 青木道宏)

(検討課題)

エンドエンドQoS制御技術

機能分散型トランスポート技術

セキュア系技術SWG (主査:NEC 江川尚志)

(検討課題)

IPTV向け高信頼化技術

災害時即時復旧技術

NGN活用型セキュリティ技術

サービス系技術SWG (主査:KDDI 磯村学)

(検討課題)

FMC環境におけるサービスリソース制御技術

プレゼンス・コンテキスト共用システム相互接続技術

トランザクション型アプリケーション通信技術

端末保守運用プロトコル技術

インフラ系技術SWGの活動概要

エンドエンドQoS制御技術

- ・ 方式検討を実施し、電子情報通信学会等に報告
- ・ 各標準化会合での仲間づくり、課題の抽出、ユースケースの検討
- ・ 以上の検討結果を踏まえたITU-T SG15会合への寄書提出
(ホームネットワークと連携したQoS制御技術)

機能分散型トランスポート技術

- ・ 方式検討
- ・ 基本機能のソフトウェア試作による実現性の確認
- ・ 検討結果を国際ワークショップ^()、電子情報通信学会等で報告
() International Workshop on NGN and their Impact on E-Commerce and Enterprise Computing (NGN-EC2)
- ・ CE(制御エレメント)とFE(転送エレメント)間の通信インターフェースに関し、IETF 12月会合に寄書を提出

セキュア系技術SWGの活動概要

IPTV向け高信頼化技術

ITU-T SG13、SG17等でのマルチキャスト技術標準化状況調査

災害時復旧技術

電子情報通信学会の第2種研究会「複雑系による自己成長・修復ネットワーキング」で情報収集等を実施

NGN活用型セキュリティサービス

ITU-T SG13(2007.9)へ「TTPを用いたセキュアなe2eデータ通信サービス」(X.sap-2)の寄書提出

サービス系技術SWGの活動概要

FMC環境におけるサービスリソース制御技術

ITU-T SG13、SG16や3GPP、OMA、WiMAX Forumにおける標準化状況について情報収集

プレゼンス・コンテキスト共用システム相互接続技術

- ITU-TでのNIDやIETFにおけるSIP/SIMPLEを使ったアプリケーションの検討状況について動向調査
- コンテキストに関しては、Ubilaプロジェクトの成果を基に、ITU-T NGN-GSI 9月会合に寄書提出

トランザクション型アプリケーション通信技術

ITU FG-IdM、JCA-NID、SG16での関連技術の標準化動向調査

端末の保守運用プロトコル技術

OMA、DSL Forum、ETSI TISPANでの関連技術の標準化動向調査

今後の活動方針

インフラ系技術SWG

エンドエンドQoS制御技術については、NGNリリース2をターゲットにITU-T(SG12, 13, 15, 16)、IETF、IEEEなどへ提案。また、機能分散型トランSPORT技術については、NGNリリース2以降をターゲットにITU-T SG13を中心に要求条件、アーキテクチャの標準化を検討。

セキュア系技術SWG

3つの検討課題について、ITU-Tにおける標準化検討を推進。例えば、IPTV向け高信頼化技術については、RACFやNACFのマルチキャスト対応を非SIPトラヒックも視野に入れ検討。必要に応じて、障害制御プロトコルのIETFなどの標準化を検討。

サービス系技術SWG

各検討課題について、ITU-Tにおける標準化検討を推進。あわせて、3GPPやOMAなどのフォーラムにおける詳細標準の検討に寄与。また、コンテキスト、トランザクション型アプリについては、NGNリリース2以降をターゲットに詳細要件等の明確化を図っていく。

ホームネットワークWG

ホームネットワークWGの概要と構成

ホームネットワークWG

(リーダ: 北陸先端科学技術大学院大学教授 丹 康雄 サブリーダ: 沖電気工業(株)高呂 賢治)

本WGは、次世代ホームネットワークについて、産学官が結集して相互接続実験、実証実験等について検討するとともに、研究開発・標準化等を戦略的に推進すること目的として、平成18年11月に設置されたもの。

【検討項目】

- ・重要な標準化項目に関する研究開発の推進方策の検討
- ・ホームネットワークに関する標準化及び標準化に必要となる相互接続試験等の推進
- ・ホームネットワークの標準化を円滑に進めるための普及啓発
- ・ホームネットワークに関するフォーラム等関係機関との連携及び調整

→ **計画SWG (主査: 北陸先端科学技術大学院大学 丹 康雄)** (~ 平成19年4月)

研究開発、標準化の基本戦略及び普及促進方策に関する検討

→ **ホームネットワーク・アーキテクチャSWG (主査: NTT 伊藤 昌幸)** (平成19年5月 ~)

参照点の定義の明確化等をはじめとするホームネットワーク・アーキテクチャの技術的な検討

→ **ホームネットワーク普及促進SWG (主査: 松下電器 池崎 雅夫)** (平成19年5月 ~)

ユーザの視点にたった普及促進に関する検討

計画SWGの活動概要(～平成19年4月)

国際標準(I TU - T J. 190)改訂に向けた検討

- ・ ホームネットワークのアーキテクチャに関するITU勧告であるJ.190の改訂骨子案をTTCに入力。
- ・ TTCの次世代ホームネットワークシステム委員会等において寄与文書が作成され、平成19年2月に開催されたITU-TSG9のラポータ会議に入力。
- ・ 平成19年10月にJ.190改訂がITUで勧告化。

研究開発、標準化等に関するアンケート調査

- ・ 研究開発、標準化、普及促進が三位一体となって検討を進めていくことが必要であることを確認。
- ・ 次世代ホームネットワークの検討を進めていく上では、アーキテクチャイメージの認識の統一を図ることを確認。

その他

- ・ 次世代ホームネットワークに関する勉強会を実施、平成19年3月に総務省が実施した相互接続の実証実験等に参加。
- ・ ホームネットワークに関するフォーラムやソフトウェア開発企業、ネットワークを利用したサービス事業者等が新たにホームネットワークWGに参加。

HNアーキテクチャSWG及びHN普及促進SWGの活動概要(平成19年5月～)

HNアーキテクチャSWG

- ・ ホームネットワークのアーキテクチャモデル、参照点モデルについて検討を行い、ホームネットワークWGにおける共通の検討モデルとして合意。
- ・ 検討結果について一般に公開。
- ・ 今後、「QoSの確保と広域ネットワークとのQoSの引き継ぎ」と「運用管理と故障対応」を、早急に取り組むべき課題として位置付けることを合意。

HN普及促進SWG

- ・ ホームネットワークWGのメンバーに対して、ホームネットワークのユースケース＆シナリオに関するアンケートを実施し、31件(16社、団体)から回答。
- ・ 提案元の企業から提案内容に関するヒアリングを行うとともに、意見交換を実施。
- ・ 本年3月に総務省、情報通信研究機構とともに主催した次世代ホームネットワーク実証実験を念頭にアンケートで得られたユースケース＆シナリオの提案を分類。
- ・ 平成19年度中に実証実験を行うことが適当とされた提案について詳細な分析を実施。

次世代ホームネットワーク実証実験及びセミナー2008の概要

本年3月、ホームネットワークWGは、総務省、独立行政法人情報通信研究機構と共同で、次世代ホームネットワーク実証実験を実施。次世代ホームネットワークセミナーと同時に開催することにより、サービス提供事業者や情報家電関連企業等約300名が来場。

1. 期日・場所

平成20年3月5日(水)～7(金)（6日は一般公開）
けいはんな NICT知識創成コミュニケーション研究センター

2. 概 要

家電のデジタル化やネットワークのブロードバンド化、IP化の進展を踏まえて、多様なサービスが期待されているホームネットワークについて、安心安全に高度なサービスが利用できるように、開発・標準化・普及啓発等を推進し導入の環境を整えて行く必要がある。

このため、ユースケースに基づいたホームネットワークの実証実験を行い、各種ネットワークサービスの提供がホームネットワークを利用して可能となることを検証した。

3. 主催者・参加団体等

主催者： 次世代IPネットワーク推進フォーラム、総務省、NICT

参加団体： 家電・通信機器メーカー、通信・放送事業者、サービス事業者、研究機関等

合計27機関

一般公開入場者： 約300名

今後の活動方針

ホームネットワークWG

SWGや勉強会等の活動をベースに来年度も引き続き、次世代ホームネットワークの実現による新しい市場の創出を目指して以下の取り組みを実施する。

重要な標準化課題に関する研究開発の推進方策等の検討

相互接続試験や普及啓発に向けた取り組みとして次世代ホームネットワークによる新しいサービス・技術の実証実験の企画・実施

関係する標準化組織等との連携

各SWG

(1) HNアーキテクチャSWG

SWGの体制の見直しを行った上で、「QoSの確保と広域NWとのQoSの引き継ぎ」、「運用管理と故障対応」の2つの技術課題を柱として検討を行うこととする。

(2) HN普及促進SWG

引き続き、今年度のアンケート結果を受けて 進化ロードマップ、 将来ビジョンの検討、利用視点からの取り組み課題に係る調査に取り組むこととする。